

公益社団法人 日本船舶海洋工学会

平成26年度（第119期）事業計画

（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

I 基本方針

本会は、船舶及び海洋工学に関する学術技芸を考究し、船舶の性能及び安全性向上、並びに、海洋の開発利用及び環境保全を図ることにより、我が国の発展に寄与すると共に、我が国の国民生活の向上を図ることを目的とする。この目的を達成するため、公益目的事業として、調査研究事業ならびに啓発広報事業を行う。

II 調査研究事業

【1】講演会

学術講演会を春秋2回開催し、オーガナイズドセッション、ポスターセッションの実施、講演論文集(CD)の刊行等により学術技芸の発展と会員相互の情報交換に寄与する。またブラジルや韓国の造船学会との共同セッションなどを通じて講演会の国際化を進める。

1. 平成26年春季講演会

期日：平成26年5月26日、27日
場所：仙台国際センター（仙台市）

2. 平成26年秋季講演会

期日：平成26年11月20日、21日
場所：長崎ブリックホール（長崎市）

【2】論文集発行

会員からの投稿論文を、論文審査委員会による審査を経て有益な論文を集め、下記の論文集を刊行する。

1. 日本船舶海洋工学会論文集 第19号 平成26年6月刊行
2. 日本船舶海洋工学会論文集 第20号 平成26年12月刊行

【3】英文論文集（Journal of Marine Science and Technology）刊行

世界各国からの投稿論文から編集委員会による審査を経て有益な論文を集め、下記の論文集を刊行する。（科研費補助事業）

1. Journal of Marine Science and Technology Vol.19 No.2 平成26年6月刊行
2. Journal of Marine Science and Technology Vol.19 No.3 平成26年9月刊行
3. Journal of Marine Science and Technology Vol.19 No.4 平成26年12月刊行
4. Journal of Marine Science and Technology Vol.20 No.1 平成27年3月刊行

【4】研究委員会活動

1. 研究企画委員会の開催

研究企画委員会を年3回開催し、調査研究活動の活性化、研究戦略の検討、学会誌での技術解説やシンポジウム等対外的な研究活動を推進する。

2. 分野研究企画部会の開催

- ・性能・運動分野
- ・構造強度・材料溶接分野
- ・工作分野

- ・設計・艤装分野
- ・海洋工学・海洋環境分野
- ・情報技術分野

3. 研究委員会の開催

本年度は以下のプロジェクト研究委員会、戦略的プロジェクト研究委員会を実施する

(1) プロジェクト研究委員会

P37 海中システム技術・海洋環境管理技術に関わる震災・津波・原発事故の復旧・復興支援と防災に関する研究委員会

P39 居住区設計指針研究委員会

P40 船舶 3D 製品情報の共有と高度利用のための標準フォーマットの策定研究委員会

P41 JSQS（艤装関係）2015年版改訂研究委員会

P42 PSPC 適用船の施工のための裏焼防止の検討研究委員会

P43 BCM を用いた船体流場の大規模 CFD 解析能に関する研究委員会

P44 海洋エネルギー施設の環境影響評価に関する研究委員会

P45 バラスト管装置設計基準の全面改訂研究委員会

(2) 戦略的プロジェクト研究委員会

S10 調和化船体構造規則(H-CSR)研究委員会

S12 IMO 最低出力がトランジエント策定方針研究委員会

4. 研究会の開催

下記の常設研究会を随時開催し研究活動を行う。

- ・推進性能研究会
- ・運動性能研究会
- ・造船設計・生産技術研究会 造船設計部会
- ・造船設計・生産技術研究会 船体艤装工作部会
- ・造船設計・生産技術研究会 電気艤装部会
- ・造船設計・生産技術研究会 機関艤装部会
- ・材料・溶接研究会
- ・建造革新研究会
- ・海洋工学研究会
- ・海洋環境研究会
- ・情報技術研究会

5. 浮体式洋上風力特別検討委員会

浮体式洋上風力発電を、安全で経済性に優れた海洋再生可能エネルギーとするため、設計技術、水槽実験法、および環境影響評価法に関する技術課題を検討する、浮体式洋上風力特別検討委員会を開催する。

【5】シンポジウム等の開催

・船舶海洋分野に係る有識者会議として、第4回世界船舶海洋工学フォーラムを開催する。

期日：平成26年11月28日

場所：I-site なんば（大阪市浪速区）

・日本マリンエンジニアリング学会、日本航海学会と共催し、海事三学会合同シンポジウムを開催する。

期日：平成27年1月

場所：東京地区

【6】国際事業

・国際的な海事連携と調査研究のため、第6回

PAAMES/AMEC 国際会議に参加する。
Pan-Asian Association of Maritime Eng. Societies (PAAMES)/Advanced Maritime Eng. Conference (AMEC)

平成 26 年 10 月 28 日～30 日、於：中国・杭州

- ・韓国造船学会(SNAK)との相互交流を深めるため、秋季講演会にジョイントセッションを開設し、情報交換等の活動を推進する。
- ・調査研究に関わる国際的な活動を行うために下記の委員会を開催する。
JTTC 委員会 船舶性能に関わる調査研究
JSSC 委員会 船体構造と安全性に関わる調査研究

【7】海外共同研究促進事業

海外機関との連携強化、国際的な共同研究の強化を目的とし、あわせて研究者・技術者の人材育成のため、海外機関との共同研究の創成・実施をサポートする。

【8】支部活動

1. 東部支部
 - (1) 東部支部構造研究会
船体構造に関する研究発表、動向調査等の研究会を年 4 回開催する。若手設計者への船体構造基礎知識の普及活動を行う。
 - (2) ワークショップの開催
船舶海洋技術者にとって話題性あるテーマについて、招待講演を含むワークショップを年 2 回開催する
2. 関西支部
 - (1) 特別講演会
期日：平成 27 年 1 月
場所：神戸クリスタルホール（神戸市）
 - (2) シンポジウム
船舶海洋工学に関連するシンポジウムを年 2 回開催する。
 - (3) 関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）
船舶流体力学に関する研究会を年 4 回実施し、シンポジウムを開催する。
 - (4) 関西船体構造研究会（KSSG）
船舶および海洋構造物に関する研究会を年 4 回実施し、シンポジウムを開催する。
3. 西部支部
 - (1) 西部支部構造研究会
船体および海洋構造物の構造に関わる研究会を年 3 回、講習会を 1 回開催する。
 - (2) 西部支部性能研究会
船舶の性能に関する海外からの招待講演を含むワークショップを 1 回開催する。

III 啓発・広報事業

【1】能力開発センター

船舶海洋技術者の能力開発に係る下記の活動を行う。

1. 運営委員会の開催
本センター運営委員会において、能力開発に関わる企画、調整を行う。
2. CPD の推進
継続教育（CPD）ポイント構築システムの改善を検討すると共に、他学会との協調を考慮しながら CPD ポイント制度の普及に努める。
3. 技術者資格支援

技術士補（技術士第 1 次試験）資格取得を支援するため、船舶海洋技術者を対象とした講習会を開催する。

4. 大学教育支援

船舶海洋系大学の教育プログラムの JABEE 認定を支援する。

【2】造船技術者社会人教育

若手造船技術者の実務に役立つ実践的な教育のため、日本造船工業会、日本中小型造船工業会と共催し、造船技術者社会人教育（第 14 回）を実施する。

【3】海洋教育推進活動

1. 海洋教育推進委員会

(1) 委員会の開催

運営委員会、幹事会および支部委員会を開催する。

(2) 海洋教育セミナーの開催

主に海洋教育担当者を対象として、海洋教育の事例発表等を主体とした海洋教育セミナーを実施する。

(3) 海洋教育に関する広報活動

海洋教育に関連する情報、論文、報告書等を学会誌に掲載する。また、海洋教育コンテンツをホームページに掲載する。さらに一般からの海洋に対する問い合わせ等について対応する。

(4) 海洋教育に関する企画

実習船を用いた海洋教育の調査／情報発信の改善／教材作成／科学館・博物館との連携／施設・工場見学／地域支援コーディネーター／海辺環境教育等の企画を立案し実施する。

2. 海洋教育フォーラム

一般市民を対象として、船舶・海洋への関心を高め、周知・啓発を目的として、全国 4 か所で海洋教育フォーラムを開催する。

3. 青少年啓蒙活動

青少年を対象として下記の出前講義、体験型講義等の提供を行なう。

- ・夏休みおもしろ船教室
- ・水中ロボコン（ロボットコンテスト）
- ・青少年セミナー

4. 一般向講演会

海洋分野に関する国民の知識や理解の向上を図るために、高校生や一般を対象とした講演会を全国各地で開催する。開催する機関は、船舶海洋系 9 大学を予定している。（日本造船工業会補助事業）

5. 夏の学校

学生、若手研究者、社会人を対象として、合宿形式の「夏の学校」を、運動・性能分野と構造・材料分野で 2 回実施する。

【4】会誌発行

学会誌編集委員会において特色ある編集内容を検討し、下記のとおり学会誌「KANRIN」を発行する。また全会員に配布する。

号	本文頁数	発行年月
第 54 号	85	平成 26 年 5 月
第 55 号	150	7 月
第 56 号	85	9 月
第 57 号	85	11 月
第 58 号	85	平成 27 年 1 月
第 59 号	85	3 月

【5】電子情報サービス

- ・タイムリーな学会情報の発信と情報の管理を国内外に向けて行う。
- ・ホームページの運用と内容の充実を図る。
- ・会員サイトのコンテンツの充実を図る。

【6】学会褒賞

下記の褒賞および推薦を行う。

- 学会賞（論文賞）
- 学会賞（発明・考案等）
- 奨励賞（乾賞）
- 船舶海洋技術賞
- 奨学褒章
- 名誉会員・功労会員の推薦

【7】シップ・オブ・ザ・イヤー授賞

シップ・オブ・ザ・イヤー2013 応募作品の広報、選考会および表彰式を開催する。

【8】広報活動

学会活動を広く周知するため広報宣伝活動を行う。また他分野からの入会者の増加を図る。

【9】支部活動

1. 東部支部
 - (1) 若手研修・意見交換会
若手会員の異業種間ネットワーク形成と活性化のため研修・意見交換会等を企画、開催する。
 - (2) 海事産業へのお誘い
大学生を対象として海事産業関連の企業の説明会を開催する。
2. 関西支部
 - (1) 若手技術者研修会
若手技術者を対象として、技術力の向上と技術交流を目的とした研修会を年5～6回開催する。
 - (2) 造船資料保存委員会
資料の収集、整理、調査等保存活動を行う。
 - (3) 関西シニア海事研究会（Kシニア）
海事関連の調査研究・啓蒙活動を行う。
 - (4) 支部長賞
論説・記事/若手研究者および学生の海外での論文発表/調査/職場の環境改善・安全対策/授賞審査委員が設定したテーマに対して支部長賞を授与する。
 - (5) セミナー・講習会
 - 1) 見学会
船舶海洋に関連の深い場所や施設を訪問し、解説および見学を行う。
 - 2) 海事産業説明会
大学生を対象に日本の海事産業説明会を行う。KFRjr. とKSSGjr. の学生幹事が運営を主体的に行う。
期日：平成26年12月または平成27年3月
場所：大阪または神戸
 - (6) 海岸清掃（ボランティア活動）
国際ビーチクリーンアップ活動に参加して、神戸市須磨海岸の清掃を実施するとともに、海岸ゴミの調査活動に協力する。
期日：平成26年春季または秋季
 - (7) 学生・若手会員募集
学生会員募集のための学会紹介パンフレットを製作し、学生会員の拡大を図る。また、若手技術者向けの研修会や講演会を企画し、若手会員の拡大を図る。

3. 西部支部

- (1) 若手技術者向けセミナーの開催
船舶の性能評価法に関するセミナーを、学生や若手技術者を対象として開催する。
- (2) 褒賞事業
船舶海洋科学技術に関連する啓発広報活動に貢献した会員に奨励賞を授与する。
- (3) メールマガジンの発行
西部支部メールマガジンを隔月に発行し、支部所属造船所や機関のトピックス紹介等を行う。

IV 事務

【1】会員管理

会員の入退会、会費請求、資格変更等、会員情報の維持・管理を行う。

【2】規則の改訂等

理事会において必要な内規の改定を行う。

【3】委員会委員の委嘱

理事会の議を経て各種委員会委員の委嘱を行う。

【4】代議員選挙

定款に従い、任期満了に伴う代議員選挙を行う。

【5】会合

1. 定時総会
期日：平成26年5月26日
場所：仙台国際センター（仙台市）
議案：平成25年度事業報告・収支決算報告
平成26年度事業計画・収支予算
2. 理事会
定例理事会を6回開催する。
3. 支部総会等
 - (1) 東部支部
東部支部総会
期日：平成26年5月16日
場所：日本海事協会東京支部
運営委員会を年6回開催する。
 - (2) 関西支部
関西支部総会
期日：平成26年5月23日
場所：三菱重工業神戸造船所（神戸市）
商議員会を年1回開催する。
運営委員会を年7回開催する。
会務委員会・研究運営委員会・情報システム委員会・授賞審査委員会を必要に応じて開催する。
 - (3) 西部支部
西部支部総会
期日：平成26年5月14日
場所：JR博多シティ（福岡市）
運営委員会を年5回開催するほか、メール審議を行う。